

press release

2013年5月29日

Seeing is Believing 眼科医療の飛躍的革新を目指す新たな基金を創設

**回避可能な視覚障害撲滅に向けた取組み Seeing is Believing
眼科医療イノベーションの促進に向け、300万米ドルの基金を創設**

スタンダードチャータード銀行(本店:ロンドン、最高経営責任者:ピーター・サンズ/在日支店:千代田区、在日総支配人:クリストファー・ナイト)は、国際失明予防機関(IAPB)と協力してグローバルで取り組んでいる、回避可能な視覚障害撲滅に向けたチャリティ活動 Seeing is Believing の一環として、眼科医療のイノベーションを促進するための、300万米ドルの新たな基金を創設しました。

この基金は、世界中の非営利団体(NPO)・非政府組織(NGO)・研究機関・大学・個人イノベーターを対象とし、世界の貧困・中所得地域における眼科医療の発展に寄与する、新しいアイデアの創出・スケールアップを目指すプロジェクトを支援するものです。対象プロジェクトとしては、眼科医療機器の新製品・技術開発や、より低コストで効果が高い医療の持続的な提供を可能にする経営モデルやビジネスモデルを想定しています。また、全盲を含む視覚障害者が、より自立的な社会生活を送ることを可能にするための技術開発・スケールアップに関する提案も、基金の対象となります。

スタンダードチャータードのグループ最高財務責任者兼 Seeing is Believing 議長のリチャード・メディングスは次のように述べています。

「チャリティ基金は、支援目的に沿った新しいアイデアの創出・研究・製品開発を促進するという、重要な役割を担っています。多くの基金は提供する助成金に対して 100%の成果を期待しています。この基金により、新しく、より優れた眼科治療法の開発に取り組む個人・組織への支援を通して、世界の貧困・中所得地域で真の改善が実現することを願っています。」

国際失明予防機関(IAPB)のCEO、ピーター・アクランド氏は次のように述べています。

「世界の失明者数は、2020年までに倍増すると予測されています。それに対して IAPB は、1999年に、回避可能な視覚障害を世界から撲滅するための『VISION 2020』キャンペーンを立ち上げ、大きな成果を上げました。その間、イノベーションのおかげで白内障等の治療費用の大幅削減が実現したほか、オンコセルカ症(河川失明症)・トラコーマ等の病気には、既存の薬物療法が有効であることが発見されるなど、著しい進展がありました。しかし、2020年までに回避可能な視覚障害を撲滅するという目標を達成するためには、ここで立ち止まることはできません。眼科医療に飛躍的な発展をもたらす新イノベーションの発掘に、この基金が貢献すると確信しています。」

2013年に提供する助成金総額は、100万米ドルを予定しています。助成対象は、以下の2種類です。

- ①基礎的・先駆的イノベーションの開発(5万米ドル)、及び
- ②一定の基礎実験を終えたイノベーションのスケールアップ(20万米ドル)。

Seeing is Believing は、基金の運営と助成先の選考を行うため、眼科分野の内外の専門家からなる基金運営委員会をすでに発足しています。

基金に関する詳しい情報(英語)は以下のサイトでご覧いただけます。

www.seeingisbelieving.org/InnovationFund.

本件に関するお問い合わせは下記にて承ります。

スタンダードチャータード銀行
コーポレート・アフェアーズ部
Tel: 03-5511-1245 / Fax: 03-5511-9311
CA.japan@sc.com

Seeing is Believing (視覚障害者支援プログラム)について

Seeing is Believingは、2003年に行員が中心となって回復可能な視覚障害の問題の意識を高め、募金を集めることを目的にグローバルな取り組みとしてスタートしました。それ以来、開発途上国のアイケアに4,500万米ドルを拠出し、2,800万人を越える人々を対象に活動しています。現在は、持続可能なアイケアプログラムを5000万人の人々に届けることを目的として、2020年までに1億米ドルの募金を達成することを目指しています。寄付金は視覚障害への治療、解決に向けた持続性のある活動 -支援活動、啓蒙運動、眼鏡や手術など- をサポートする基金として使用されます。

日本においては、2004年からアキレスインターナショナルジャパン(視覚障害者を含めた障害をもつランナーと一般市民が共にランニングを楽しむためのグループ)とスポンサーシップ契約を締結しました。同団体をサポートするとともに、視覚障害についての意識を高めることを目的に、メンバーと学校訪問をするなど、ともにパートナーとして、地域への貢献活動やSeeing is Believingの募金活動を行っています。Seeing is Believingの詳細については、以下のサイトからご覧ください。

<http://www.standardchartered.co.jp/media-centre/seeing-isbelieving/jp/index.html>

スタンダードチャータード銀行-アジア・アフリカ・中東地域における先駆者として

スタンダードチャータードはロンドン証券取引所、香港証券取引所、ムンバイ証券取引所、ならびにインド国立証券取引所に上場している国際的な金融グループです。世界で最もダイナミックな市場-アジア・アフリカ・中東地域において150年以上の歴史を誇り、グループの収益の約9割は、それらの地域で創出されています。また、世界70カ国以上で1,700余のオフィスを有する当行は、国際的なキャリア構築の機会を総勢87,000余名の行員に対して生み出しています。当行グループでは、長期的視野に立った持続性のある事業構築に取り組む傍ら、高いレベルでのコーポレートガバナンスを保持すると共に、社会的責任を果たし、環境保護と多様性のある人材育成にも力を注ぐことで、世界中の信頼を得ています。私たちのブランドプロミスである「Here for good」は、このような当行の伝統と企業価値を反映しています。

日本におけるスタンダードチャータード銀行について

日本におけるスタンダードチャータード銀行の歴史は、横浜に初めて駐在員事務所を開設した1880年にさかのぼり、今年で133年目を迎えます。アジア・アフリカ・中東地域で投資事業を展開する日本の企業法人・金融法人のお客様向けに、多岐にわたる金融サービスを提供し、さらなる成長を続けています。

スタンダードチャータードグループHP(英語) www.standardchartered.com

スタンダードチャータードグループ facebook(英語) www.facebook.com/standardchartered

スタンダードチャータードグループ Twitter アカウント @StanChart

スタンダードチャータード銀行在日支店HP(日本語) www.standardchartered.co.jp

スタンダードチャータード銀行在日支店 HP(英語) www.standardchartered.co.jp/index_english.html